マタイ５：１３―１６「地の塩、世の光」

「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」

塩は、ただそこにあるだけなら、ただの塩です。しかし、他の人が来て、塩を取り、食べ物にひとつまみ加えます。すると、その食べ物は、味わい深いものとなります。また他の人が来て、塩を取り、食べ物にひとつまみ加えます。すると、その食べ物は、いたまずに長持ちするのです。このように、塩は、他の人によって取って使われるために、あるのです。

ここに私がいて、私が他の人に使われるために、私自身を差し出している、ということ。それが、人から使われる、ということであり、また、それが、人に仕える、ということでありましょう。

塩とは、そこにあって、他の人に使われるために、自分自身を差し出している存在です。

主イエスキリストは、弟子たちに向かって、「あなたがたは塩である」と言われました。それは、イエスの弟子が、そこにあって、他の人に使われるために、自分自身を差し出している存在である、ということを意味しています。

主イエスキリストご自身、こうおっしゃいました。マタイによる福音書第２０章２５節から２８節の言葉をお読みします。

「あなたがたも知っているように、異邦人の間では支配者たちが民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。しかし、あなたがたの間では、そうであっ

てはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆のしもべになりなさい。人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように」

ここで、主イエスキリストが、ご自身を指して、こうおっしゃっていることに注意しましょう。「わたしは、他の人から仕えてもらうために来たのではない。わたしは、他の人に『しもべ』として仕えるためにこそ、来たのだ」

塩が、そこにあって、他の人に使われるために、自分自身を差し出している、という存在であるならば、主イエスキリストこそ、まことの塩である、と言うことができるでありましょう。

主イエスの弟子であるわたしたちが「塩」として生きるとは、主イエスがそうであられたように、わたしたちもまた、他の人に仕えるために、自分自身を差し出すことにほかなりません。

主イエスキリストは、「弟子であるあなたがたは、『地の塩』である」と言われました。「地の塩」とは、日々の生活の平凡な場面で普通に使われる塩、ということであります。

日々の生活の平凡な場面で、普通の人々によって使われる存在。それが「しもべ」であります。

主イエスは、「しもべ」としての姿を、最後の晩餐の席で弟子たちに身をもって示してくださいました。ヨハネによる福音書第１３章３節から５節をお読みします。

「イエスは、父がすべてを御自分の手にゆだねられたこと、また、御自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた」

そこに置かれている塩を、他の人が取って、食べ物に加えると、食べ物は味わい深くなります。しかし、塩そのものは、溶けてなくなってしまいます。さらに、そこに置かれている塩を、他の人が取って、食べ物に加えると、食べ物はいたまずに、長持ちするようになります。しかし、塩そのものは溶けてなくなってしまいます。

このように、塩は、日々の生活の平凡な場面で、普通の人々に使われ、味わいを与え、腐敗を防止しますが、しかし、塩そのものは、溶けてなくなってしまうのです。

ですから、塩は「謙遜」な姿をも示している、と言うことが出来るでしょう。

主イエスキリストは、まさに謙遜なお方でありました。主は、飢えている人に食べさせ、病気の人を癒され、悪霊につかれている人を解放され、友のない人の友となられ、罪人たちと一緒に食事をされ、すべての人の罪を一身に担われ、十字架に付けられ、身代わりの死を遂げられ、人類の罪を贖なわれ、三日目に復活され、そして、地上から去って行かれました。わたしたちは、今、主のお姿をこの地上に見ることが出来ません。主は、溶けて、その姿を消された塩のように「謙遜」であられます。

ルカによる福音書第２４章３０節と３１節に、このように記されています。

「(エマオ途上の二人の弟子たちが）一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった」

「その姿は見えなくなった」　ここに、まことの塩としての主イエスキリストの謙遜があります。

わたしたちは、主イエスキリストの弟子として、主イエスキリストと同じ十字架の道をたどるようにと、主イエスキリストによって招かれているお互いです。この招きに対して、「はい」と応えることが、主の弟子になる、ということであ

ります。

主の弟子となるとは、「地の塩」になる、ということにほかなりません。主イエスが、しもべとして、人にお仕えになり、その上で、お姿を消されたように、わたしたちもまた、しもべとして、人に仕え、その上で、姿を消すようにと、招かれているのです。

わたしたちは「イエスのようにしてください。思いにも、行ないにも」と、しばしば祈ります。主はこの祈りに応えて、わたしたちを、主に似たる者と変えてくださるでありましょう。

間もなく「復活祭」がやって参ります。復活祭の日曜日の午後、わたしたちは、毎年そうしているように、墓地の納骨堂の前に共に集まり、亡くなった人々の記念の集会をいたします。それは、この地上から「姿を消した」あの人や、この人のことを、心に思い起こして、祈る時であります。

それら、この地上から「姿を消した」人々こそ、ほんとうに主に似たる者と変えられた、まことの主の弟子たちである、と言うべきではないでしょうか。

彼らの無私の奉仕の姿。そうして、その姿を消してしまった、「姿なき姿」は、この「闇のような世界」にあって、いまなお、まばゆいばかりに輝いているのです。

実際のところ、彼らの無私の奉仕によって、わたしたちの世界は、味わい深い場所とされたのだし、また、わたしたちの世界は、腐敗から防止されたのでありました。彼らの無私の奉仕について、この「闇のような世界」の多くの人々は、何も、おぼえておりません。少しも、記憶にとどめておりません。それゆえに、まったく、感謝することがありません。

しかし、わたしたちは知っているのです。彼らの無私の奉仕。彼らの「姿なき姿」　彼らこそが「地の塩」であります。彼らの「姿なき姿」のうちにこそ、わたしたちは、主イエスキリストの栄光の輝きを見るのです。それゆえに、彼

らこそがまた、「世の光」であります。

間もなく復活祭がやって来ます。わたしたちは、主イエスキリストのご復活をおぼえようとしています。そうしてまた、主イエスキリストの弟子として生き、主イエスキリストの弟子として死んで行った、あの人のことや、この人のことを、墓地の納骨堂の前で、おぼえようとしています。

「地の塩」として、日々の生活の平凡な場面において、ごく普通の人々に対して、しもべのように仕えて、そのことによって、この「闇のような世界」に、味わいを与え、腐敗を防止し、そうして、地上から姿を消して行った、あの人や、この人。その「姿なき姿」を、わたしたちは、おぼえようとしています。あの人や、この人の、「姿なき姿」のうちに輝く、主イエスキリストの栄光の輝きを、おぼえようとしています。

どうか、わたしたちも、あの人や、この人のように、なることができますように。それが、わたしたちの小さな祈りであり、小さな願いです。どうか、わたしたちも、「地の塩」「世の光」となることができますように。それが、わたしたちの小さな祈りであり、小さな願いです。どうか、わたしたちも、主イエスキリストに似たる者となることができますように。恵みによって、そのようにしていただくことができますように！

祈りましょう。

祈り

天の父なる神さま。
人に仕える、ということは、なんと、むずかしいことでありましょう。
特別なことのためにではなく、日々の生活のごく平凡なことのために、人に使われるということは、なんと、むずかしいことでありましょう。
わたしたちは、すぐ報いをもとめてしまいます。
わたしたちは、すぐ感謝され、ありがたがられ、お礼をされることを、もとめ

てしまいます。
人に黙って仕え、感謝されもせず、おぼえられもせず、忘れ去られることに、わたしたちは、堪えられません。
まして、自分の姿を消し、この地上から去って行くことに、わたしたちは我慢がなりません。
いまわたしたちは「地の塩たれ」「世の光たれ」という、主イエスキリストの召しの声を聞いております。
どうか、わたしたちが「はい」と言うことができますように。
主イエスが、他の人の足を洗われたように、わたしたちも、他の人の足を洗う者となることができますように。
ただあなたの恵みが聖霊を通して働く時にのみ、わたしたちは、そのようになり、そのようにすることができます。
どうか、わたしたちも、主イエスのように謙遜な者となることができますように。主が、この地上から姿を消されたように、わたしたちもまた、この地上から姿を消すということを、受け容れることができますように。
そのことによって、「イエスのようにしてください、思いにも、行ないにも」というわたしたちの祈りが、ほんとうにかなえられますように。
わたしたちの先輩たちの「姿なき姿」を通して、今も、主イエスキリストの栄光が輝いていることを、おぼえます。どうか、わたしたちも、そのようにして、主イエスキリストの栄光の輝きを、まばゆいばかりに放つ者とならせてください。
主イエスキリストの御名によってお祈りいたします。
アーメン